

政治資金残りあと

71,896円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	98,681円
収入	
寄付 カツマタさん	10,000円
支出	
印刷代（月刊武松印刷代）	25,416円
交通費（駐車場、燃料代）	4,188円
会場費差額	400円
通信費（携帯電話）	6,781円
収支計 03/11/10～03/11/30	- 26,785円

市政を考える

月刊武松

発行日

03/12/1

第49号

9500部発行

たけまつ

ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

東海地震注意情報!?

警戒宣言の前に注意情報が出るようになります！

■予知できる場合とできない場合がある。

従来の東海地震対策では、直前予知に基づく避難警戒体制の確立として、避難地や避難路等防災施設の整備に重点が置かれていました。

しかし、様々な研究、シミュレーション技術の進歩により、東海地震が予知できる場合とできない場合があることや、従来の地震防災対策強化地域が拡大されました。

また、阪神淡路大震災の教訓から、予防対策から復旧・復興までを含めた総合的計画と強化区域外の対策、計画の必要性が出てきました。

■東海地震対策大綱が決定

このような状況から2001年より中央防災会議で様々な審議がされ、今年の5月に、東海地震対策大綱が決定しました。その主なポイントとして

①緊急耐震化対策等の実施

阪神淡路大震災の犠牲者の8割強が建物倒壊等による圧死だったことから、住宅や公共建築物の強力な耐震対策が必要となりました。

住宅の耐震化

- ・地震ハザードマップ
- ・住宅性能表示制度
- ・耐震診断・補強への助成
- ・効果的な耐震補強策

公共建築物の緊急耐震化

- ・耐震診断の緊急実施
- ・個々の施設の耐震性リスト作成と公表
- ・公共建築物の耐震補強

②地域の災害対応力の強化

東海地震の正確な知識の徹底的普及

- ・東海地震は、予知できる場合とできない場合がある。
- ・東海地震で想定される被害
- ・必要な備え（耐震化、家具の固定、備蓄）
- ・警戒宣言時、災害発生時にとるべき行動

市民・行政・ボランティア・NPO・企業の参加・連携による的確な防災活動の実施。

③警戒宣言前からの的確な対応

今回、情報面で変わったのは、東海地震注意情報が出ることです。これまでは、社会混乱の防止の観点から、判定会招集前に情報が国民に示される事はありませんでした。

来年1月以降は、地震の前兆すべり現象が把握でき、準備行動をすべきとの判断が下された場合、判定会招集前に注意情報が出されることになりました。

地震注意情報

- ・学校の児童、弱者等の帰宅
- ・旅行の自粛
- ・実動部隊の派遣準備

判定会

警戒宣言

- ・住民避難
- ・交通規制、店舗営業禁止

地震発生後（従来は一律に営業中止）

- ・震度等に応じ、鉄道、劇場、百貨店の営業継続可
- ・耐震性を有する病院・小売り店舗は営業継続可

④発災時の広域防災体制の確立

従来は、発災後に、被害状況、地方公共団体の要請の把握をし、活動内容や実施主体等を調整をしていましたが、これでは迅速な対応が困難でした。

これからは、被害想定等を基に予め派遣内容、必要量等を計画し、発災直後から計画に基づき、救助部隊、医療チームの派遣や物資の調達を開始するようになります。

いくら体制が整っても……

自分の〇〇は、自分で守る!!

〇〇：命、家族、財産……

みんな必要な備えをしよう！

PETのラベル!?

ご存知ですか?PETボトルの出し方が変わったこと

今まで

- ①キャップを外す。(トプうごみ)
- ②ラベルを剥がす。(トプうごみ)
- ③よく洗って乾かす。

現在

- ①キャップを外す。(トプうごみ)
- ②よく洗って乾かす。

ラベルを剥がさなくて良くなりました。それは、リサイクル業者の設備が改善され、ラベルとPET

ボトルを破碎後に分離することができる設備となったためです。そのためラベルを各家庭で剥がして処分するよりもリサイクル効率が高いのです。

また、一時期CMでPETボトルをつぶした映像が流れていましたが、小田原市では好ましくありません。

小田原市のPETボトル減容施設では、機械で圧縮するのですが、その時につぶれたPETボトルだと、塊になりにくいからです。(塊を紐で縛って搬出する際にバラバラになる。)

また、一番の願いは、必ず**キャップを外すこと**です。回収されたPETボトルは、**人が手作業でキャップの有無を確認し、外しています。**

平成15年の活動

月刊武松発行

号	発行月	タイトル
第40号	03/1	スパウザ小田原購入!?, 事業の見直し
第41号	03/2	私の街は大丈夫?、スパウザ小田原特集
第42号	03/3	4年間の総集編 市政をぐっと身近に!
第43号	03/4	(株)アミーおだちかに出資!?, スパウザのその後
第44号	03/6	健康増進法が施行!、新会派「駿世会」、3065票で当選!
第45号	03/7	大気中のダイオキシン減る!?, 小さい単位の話、窓口コーナーの充実を!
第46号	03/9	スパウザ購入議案提出!?, 2期目はどう?
第47号	03/10	議員報酬の見直し始まる!?, 一般質問しました!
第48号	03/11	市内企業の統合進む!?, 食洗機でリストラ!?

勉強会

03/6: 2003年前半を振り返って 03/9: 小田原の発展について 03/11: 地震防災について

役職

経済厚生常任委員会副委員長

平成14年度一般・特別会計決算特別委員会副委員長

行政視察

会派: 岡山県井原市、兵庫県姫路市 常任委員会: 福岡県久留米市、大分県大分市

武松政策研究会 勉強会のお知らせ

日 時: 12/20(土) 18時~19時

場 所: 市民会館5階 第2会議室

テーマ: 「**2003年を振り返って**」どなたでも自由に参加できます。

参加費100円 終了後、実費で忘年会を行います。忘年会に参加希望の方は、メールまたは、まで連絡下さい。



ホームページでは、日刊武松(日記)や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。**YAHOO!**で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/> I-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**